

鳥インフルエンザ、パンデミックインフルエンザと季節性インフルエンザ対策の要

— 人獣共通感染症克服戦略のモデルとして —

北大総合博物館主催  
土曜市民セミナー  
北大の研究最前線  
道民カレッジ連携講座

2017  
8/12 土  
13:30 ~ 15:00

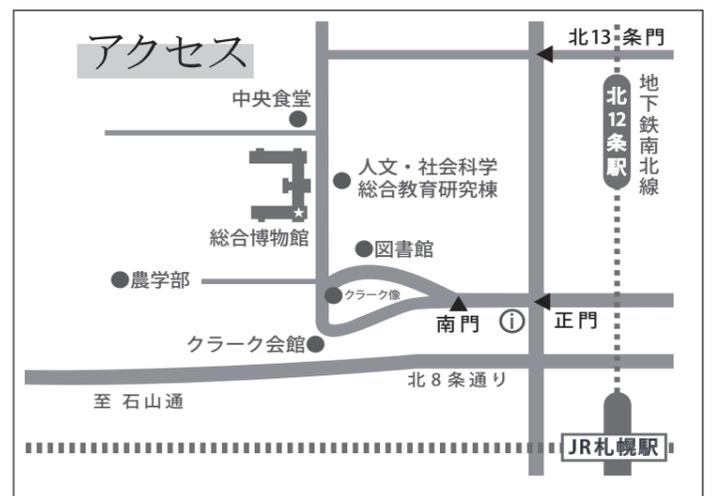
獣医学部 一押し研究

講師 喜田 宏  
日本学士院会員  
国立大学法人北海道大学 ユニバーシティプロフェッサー  
人獣共通感染症リサーチセンター 特別招へい教授 統括

入場無料・申込不要

会場

北海道大学総合博物館 1階  
「知の交流」



鳥インフルエンザ対策の要は、感染家禽の早期摘発、淘汰と発生農場からのウイルスの拡散防止により、被害を最小限に食い止めることです。パンデミックインフルエンザ対策の要は、季節性インフルエンザ対策の強化です。季節性インフルエンザ対策の要は、第一に、安全で免疫力価が高い世界基準の季節性インフルエンザワクチンの開発、実用化です。私達がこれまでインフルエンザ克服のために取り組んできた全日本産・官・学連携プロジェクトの成果を、人獣共通感染症克服戦略のモデルとして紹介します。

お問合せ



TEL : 011-706-2658  
http://www.museum.hokudai.ac.jp/